

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 1052

事業名	小中学校通学バス運行委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	教育総務課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3017			項	教育総務費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠		目	教育振興費・3目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	(法令、条例、要綱等)			
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業		業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		辰美・灘小学校及び南淡中学校への遠距離通学児童生徒	対象人数(人)
			219
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		スクールバスを運行させることにより、学校統合等により遠距離通学しなければならない児童生徒及び保護者の負担軽減と通学の安全性を確保する。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	<p>辰美小学校分については、登校時に5台のバスを旧小学校区に配備し、下校時には低学年と高学年では下校時間が異なるため3～4台のバスを往復させ下校させている。</p> <p>灘小学校分は、基本的には市が「へき地児童生徒援助費等補助金」で購入したバスを南淡中学校の用務員が運転運行しており、週1回低学年のみ早く下校する日に限り、業務委託したバスを運行させているが、平成19年度は放課後子ども教室の開催により一斉下校できたため運行していない。</p> <p>南淡中学校分は、校区内の遠距離通学区域(6km以上)から通学し且つ遠距離通学費補助金の交付を受けていない生徒を、灘来川からと阿万西町からの2ルートで登校時に各1便、下校時には部活動等の関係もあるため時間差を設け各1便と周回ルート1便を運行している。</p>		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	<p>辰美小学校については、辰美中学校区の4校が統合し平成17年度に旧津井小学校区内に開校したが、他の3校区からの通学距離が6～11kmと非常に長くなったこと、公共交通機関と登下校時間が合わないことからスクールバスを運行している。</p> <p>灘小学校については、週1回午後授業がない1、2年生を、高学年の授業が終了するまで帰宅させず学校内にとどめておくことができないので、スクールバスを運行している。</p> <p>南淡中学校についても、統合時に校区内の遠距離通学区域(6km以上)から通学し、遠距離通学費補助金の交付を受けていない生徒の安全性の確保と保護者の各種負担を軽減するために、スクールバスを運行せざるを得なかった。</p>		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ( )	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度	～ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 辰美小学校分については、合併後の開校以来運行している。 灘小学校及び南淡中学校のスクールバスについては、合併以前から20年以上運行している。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	通学バス運行回数			指標単位 回
	指標説明 (指標算出方法等)	辰美・灘小学校、南淡中学校の通学バス運行回数(年間)			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	3,783	3,802	3,366	3,938
	実績値	3,783	3,802	3,366	
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-
目標値設定の考え方	各学校の通学バス運行委託契約に基づいた便数の合計				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	通学バス利用人数			指標単位 人
	指標説明 (指標算出方法等)	辰美・灘小学校、南淡中学校の通学バス乗車対象者のうち実際に通学バスを利用している人数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	189	219	196	218
	実績値	143	164	143	
	達成度 (%)	75.7	74.9	73.0	-
目標値設定の考え方	通学バス乗車対象者				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	29,206	30,305	25,497	30,692
	バス運行委託料	29,206	30,305	25,497	30,692
	財源 (千円)				
	国		4,791	5,296	4,700
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	29,206	25,514	20,201	25,992
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	29,206	25,514	20,201	25,992	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	133.4	116.5	92.2	118.7	
受益者人数(164)1人当り経費(千円)	178.1	155.6	123.2	158.5	
経費に関する補足説明	へき地児童生徒援助費等補助金として平成18年度より5年間辰美小学校分として国庫補助がある。				



## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>南淡中学校通学バスの平成19年度分では、下校時に各ルート2便の計4便運行していたものを、各ルート1便と2ルートのほとんどを回る周回ルート1便の計3便として運行したところ、1便当たりの乗車人数も増え、また便数も抑えられ効率的に利用できているので、平成20年度以降も学校の協力のもと継続していきたい。</p> <p>辰美小学校においても、学校の協力により便数が抑えられる時間割構成で運行してもらっているため維持していきたい。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 通学バスの運行を廃止することになれば、遠距離通学による本人への身体的負担が多くなり、学習意欲の低減が懸念されるとともに、最近児童生徒に対する凶悪事件が多発しているなか、通学途中における安全性を確保できなくなる。 また、保護者等による送迎も必要となった場合にはその負担が大きすぎる。	